

# おがたん

102号

真宗大谷派  
高徳寺通信  
2023年春号



釋祐

( 1 )

毎月(※)お寺に集って、正信偈・同朋奉讃をお勤めして本を輪読したり、お喋りしたりする時間です。今年は、親鸞聖人の誕生850年の年にあたるが、誕生と往生とを味めています。14時から2時間程度。どちらでもご参加いただけます。是非遊びに来てください。

※7月と9月はお休みします。



◆ 今年の3/25・4/8と4/25・5/12の期間に  
京都・東本願寺にて大法要が勤まります。



**真宗大谷派(東本願寺)**  
宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・  
立教開宗八百年慶讃事業本部事務室  
TEL.075-371-9220 FAX.075-371-9218



◆ まず最初に正信偈・同朋奉讃を勤めます。  
◆ 車座になっての座談(語らい)の様子。



慶讃法要特設サイト開設中!

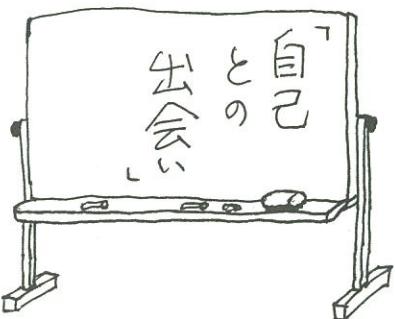
Shinran  
850  
800

慶讃法要への参拝、慶讃事業の概要、  
慶讃テーマ関連の情報を随時発信して  
います。ぜひご覧ください!  
<https://kyousan.higashihonganji.or.jp/>

→ QRコードを読み取ってみてください!

# 釋了吾の 八女日記

さとり 11



皆さん、お元氣でしょうか？九州にとっても、冬場はとっても寒い八女市から、ここにちは。年が明けたと思いや、大寒波や大雪などで各地いろいろな被害がありましたね。八女市でも、一時氣温がマイナス3度ほどまで落ちたときがありました。毎朝本堂で“お朝事”と“お勤めをいたしますが、寒すぎて冷凍庫の中にいるのではないか？”という心地がしたこと覚えてます。また、吹雪の日もありました。寒さが緩む季節は、体の不調が出やすくなると聞きますから、お氣をつけてお過ぎください。そして少し寒さが和らいできた今日は2

月の22日、花粉がやって来ています。皆さんの中には、花粉症で悩まれておられる方も、また今まで縁がない方もおられるでしょう。かくいう私も、重度の花粉症でして、毎年この時期になると眼は痒い、喉も痒い、くしゃみは出る、鼻水毎日ずーるするでござります……特にお坊さんですから、御經を読んだり、お話をしたりする訳ですが、不俱戴天の敵な訳です。最近は日々的にも取り上げられなくなってきた、コロナウイルス、この流行期にはくしゃみが止まらないと、花粉症なのか風邪なのか、はたまたコロナなのか、自分でも分からぬし他人にどう見られているか：ヒヤヒヤやっぱなしでした。幸い薬もありまして、飲むとチトましになりますが、飲まないと人間鼻水製造機となり、悲しいことになります。人としての何かを失いかねません(笑) 読経中に鼻水が出ると終わります。ですから、花粉症の時期はマスクが本当に有難いのです。

昨今、日本でもマスクを外そうと「う提言が政府の方から出てきたようになります。3月の何日か、日付も決まっておるようですね。コロナウイルスも3年、歴史は繰り返すとは言いますが、スペイン風邪が毒性を弱め収束するまで3年程かかったと言われて、ますから、このよつた雪解けともいづべき行動変容が、約100年前にも起きていたのでしょうか。皆さんはマスク、外しますか？外しませんか？おそらく半の方は、周りの様子を見て……どうことになるのではないかなどと思ひます。日本人らしく考えると(笑)また、感染されたご遺体の扱いについても、変わってきておるようです。最期の時に会うことなどが出来なかつた、会えなくてお骨になつて帰ってきた、寂しかったといふ話を聞くことがありますから、是非最期の時会えるようにしなればなと思ひます。

さて、私はこの3月で八女の明永寺さんにお世話になつて丸3年になります。いつまで八女にいるのか？そういうお尋ねもありますが、あと2年ほどお世話になる予定です。予定は未定でありますまへ(笑)あと二間の3年、東京を離れ筑後の短大に行つてから数えますと、5年、早いもので27歳になります。アラサー(30歳が近い)です。

八女を離れたら、この日記は何日記になるのか？もはや今現在でも八女要素は出がらしの八女茶のじとく……

最後に近況を。この4月から九州大谷短期大学の非常勤講師を勤めさせていただくことになりました。とつても、私自身教師の資格と言うか、何の専門的な知識も持ち合わせおりませんが、「自己との出会い」「社会との出会い」という授業を半期ず、一年間先生として勤めさせていただきます。この「自己との出会い」という授業は私が九州大谷短期大学の学生であった時も受講しておりました必修科目です。入学して、各学科混在のクラス編成がされます。九州大谷短期大学は、保育・演劇・仏教・情報などの学科がありますが、専門性の高、授業が多くため、他の学科の学生と交流する機会はあまりありません。その中で「自己との出会い」は、ほぼ唯一、自分の知らせる学びをしている学生同士が触れ合う授業になります。自己紹介をして友達

# しゅ しょ え 修正会 を お勧め いたしました (2023年1月1日) 10時より本堂にて

※ 今回は文章が多かったので、少々食い込みました…。

を作ったり、自分とはいったいどういう存在なのか  
皆で座談して考えてみたり…とにかく内容は多  
岐にわたる授業です。自分が新井了吾先生  
になるとは、生まれてこのかた思つたこともありま  
せんでしたし、はっきり言いまして不安100%です。  
1コマ90分、15回…お受けしたからには、精一  
杯学生さんのためになるような授業をしたと思  
います。また、日々記のネタが出来て…  
ウレシイ不安(泣) 合掌(づく) 住職代筆



↑恒例の集合写真♪  
→正信偈・同朋奉讃をお勧めしました。

新型コロナウイルスが変異を繰り返し、足  
かけ4年目で、やっと以前のような有縁の方々がお参り頂ける修正会となりま  
した。今年の元日も穏やかに晴れ渡り、お  
参りになられたご門徒の方々のお顔も同  
様にこやかに輝いておられました♪  
コロナ以前に完全には戻ることは厳しき  
かも知れませんが、今後は各々が氣を  
けながら、いろいろなやり方で仏法聴門  
の場に身を据えて、歩んで参られたうも  
すゞく意味のあることだと、新年に思った住  
職でありました。来年も同時に勤めいた  
します。本堂にてお待ち申しております。

# 春彼岸会

3/18(土) ~ 24(金)

\* お中日(春分の日) 21日の11:30~  
本堂にて永代経が勤まります。  
どなたでもお参りいただけます。

\* 3/19(日)と21(火)は白石ホールが  
お休み処(復活!)になります♪  
(10時~15時くらいまで) ご利用ください。

ご相談 お受けいたします。

お墓のと 法事のと その他

高徳寺のホームページ



ご覧ください!

Omigaki Onrei

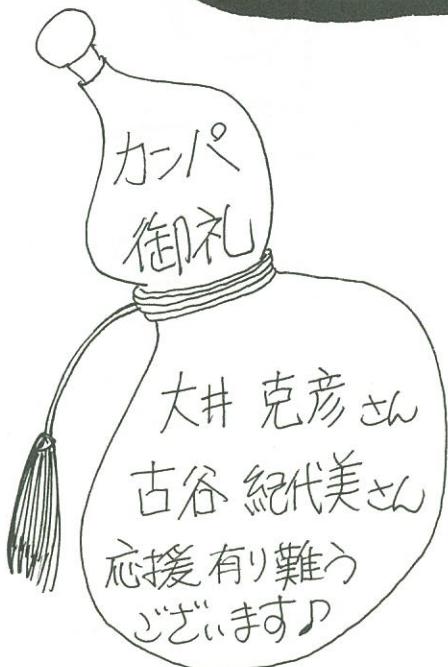
2022年  
12月25日

石井 玉枝さん  
児玉 金之助さん  
清水 和美さん  
菅原 悟さん  
菅原 千恵子さん  
杉村 健一さん  
塚田 和子さん

仁野平 延芳さん  
藤原 淑子さん  
古谷 紀代美さん  
水越 拓路さん  
水越 和子さん  
山本 洋祐さん  
若林 聖紀さん

(以上お順です)

ご奉仕に感謝いたします



## 維持費のご納入は

- 寺へご持参
  - 現金書留で郵送
  - 銀行振り込み
- } 宜しく  
お願い  
いたします。

(みずほ銀行・中井支店(249)  
普通・1640546  
ショウ)コウトクシ (宗高徳寺)

(マ) お振り込みされた方は、寺にご一報ください。

人間がこの世に生まれてくる確率は天文学的なものなん  
だそうだ。法然上人は「人として生まれたことは、梵天  
(天上界)より糸を下して(垂らして)、大海の底にある針の  
穴にその糸を通すような稀なこと」と仰っておられる。  
また、筑波大学名誉教授の村上和雄氏(分子生物学  
の世界的権威)によると、「人間としての細胞1個が生ま  
れる確率は、宝くじ一等が100万回、しかも連続で当たる  
確率…」さらに、「人間は60兆の細胞で出来てるので、  
人間として生まれてくる確率は、宝くじ一等が100万回連  
続で当たる×60兆」だとうである!! じえじえじえっ!  
そう思うと、今この時点での私が存在していることも全く  
もって凄い縁である。今年は親鸞聖人がお誕生されて  
850年にある。3月末より、本山(京都・東本願寺)にて大法要  
が厳修される。「誰にとっても本当のこと」つまり眞実の教え  
を私たちにのこしていただいた親鸞聖人のお誕生を縁として  
引き続き、仏法聴聞の場に身を据えて参りたいと思う春彼岸  
会である。



釋義祐 拝

